【1-6】カリキュラムマップ　（環境デザイン学科2020年度入学生用）

芸術学部　ディプロマ・ポリシー		
人間力 自立したひとりの人間として生きるための基盤の力	知識	人間,社会,自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる
	思考力	正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる
	行動力	自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる
	倫理観	自らの良心に従い、社会のために芸術･デザインの力を活かすことができる
創造力 芸術の力を社会のために活かす	発想力	豊かな感性からの直感を、概念･イメージなどにまとめることができる
	構想力	概念･イメージなどを紡ぎ合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる
	表現力	テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化し提案することができる

◎　DPを達成するために特に重要
○　DPを達成するために重要
△　DPを達成するために望ましい

科目名	必修/選択	履修年次	ナンバリング	講義/演習	単位数	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力	テーマ	授業概要	到達目標
建築史I	必修	1・2・3・4	26CHI1L02	講義	2	前期	◎	◎						日本建築史	日本建築史がある種の物語であることを理解した上で、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・機能的展開を遂げたのかを辿っていく。それとともに、その背景となる各時代の社会・文化や建築技術のあり方についても考えていきたい。	自分たちの身の回りに存在する建築や都市は、どのように成立・展開してきたのだろうか、その答えを、建築・都市遺構や文字・絵画史料を解読することにより見つけられるようになって欲しい。そのための基礎的な力を身につけることを目標とする。
建築史II	必修	1・2・3・4	26CHI1L03	講義	2	前期	◎	◎						世界建築史	文化、環境、社会、宗教に目を向けながら、建築の歴史的、文化的価値を多面的に理解する感性を養う。	代表的な歴史的建造物を見て、時代背景、様式、おおよその建設年代を察知できる力を身につける。
建築史III	必修	1・2・3・4	26CHI2L04	講義	2	後期	◎	◎						近代建築およびインテリアデザインの思想と歴史	建築史全体における近代建築の位置づけを理解し、その特質を学ぶ。古代から現代まで、インテリアデザインの興隆の流れを概観する。	自分達が拠って立つ「近代」について、切実に見直し、その先を考えるきっかけとする。
庭園史 （2023年度休講）	選択	1・2・3・4	26CHI1L06	講義	2	前期	◎	◎						庭園の文化史	人と自然と時間の共同制作である庭園の歴史と様式を学び、デザインの可能性を探る。	庭園の各様式の特徴を理解し、庭園設計・施工の基礎となるデザイン思想を身につける。
インテリアコーディネート （2023年度休講）	選択	1・2・3・4	26SHI1L07	講義	2	前期	○	◎	○					インテリアのエレメントと設計理念	インテリアの素材や造作に関する知識、設計にあたっての基礎的な考え方について概観する。	インテリアのエレメントへの積極的な興味を持ち、その設計理念の要点を理解する。
環境保全論	必修	2・3・4	26RIN2L24	講義	2	前期	◎	◎						サステナブル・ディベロップメント	環境にまつわる諸問題と対処の考え方、森林の保全、河川と流域環境の保全、公園資産の環境維持機能について学ぶ。	広範な環境問題の諸相を理解し、環境デザインの実践において必要な環境保全に関する知見を獲得する。
環境デザイン論I	必修	2・3・4	26SHI2L10	講義	2	前期	○	○			◎	◎		建築デザイン論	建築の役割、概念、方法を、具体的な事例にそって理解する。建築について考え、議論するための枠組みと、建築の実践を意味づけ、展開するための基礎を学ぶ。	建築の役割、概念、方法を、具体的な事例にそって理解することにより、建築設計の実践活動の基礎を習得する。
環境デザイン論II	必修	2・3・4	26RIN2L11	講義	2	後期	○	○			◎	◎		（前半）ランドスケープデザインの史的展開と現代における実践 （後半）インテリアデザインの思想と手法	（前半） 19世紀半ばから始まった近代ランドスケープデザインの国内のみならず、海外の最も先端的な動きを紹介しつつ、そのデザイン思想について考える。特にその造形プロセスを学ぶことによって、人間と自然環境との関わりのあり方をいかに表現できるか、またその空間把握と構成の本質的手法を一貫した流れに沿って総合的に習得する。講義に出席することによって自分自身に備わっていた洞察力を発見し、高め、それを表現できる契機としての鋭敏な感性を手に入れることがこの講義の主要目的である。 （後半） 多くの文化は室内に生まれ、育まれてきた。インテリアデザインとは、家具を含む日用品、絵画や彫刻、屋外環境や建造物を等しく道具として捉え、生活の美に寄与する文化醸成装置としてのしつらいを創出する行為に他ならない。この授業ではインテリアデザイン史を概観し、そこに見られる多様な思想と手法を紹介することで、インテリアデザインの基本となるエレメントの解析方法と構成方法への理解を促す。特に戦後高度経済成長期以降に飛躍的な発達を遂げた日本国内のインテリアデザインの展開を重視し、最新の事例までを取り上げる。インテリアデザインの現状を冷静に展望し得る視点を獲得し、これからのインテリアデザインが環境芸術としていかにあるべきかを考察してほしい。	ランドスケープデザインおよびインテリアデザインの基礎的知識と考え方の習得。
建築計画論	必修	2・3・4	26CHI2L13	講義	2	前期	○	○			◎	◎		建築の目的・機能と空間	ビルディングタイプごとに空間の分析・考察を行い、建築を秩序だてる方法を考える。	建築計画の可能性について考え、設計活動に有効な手法を習得する。
まちづくり計画論	必修	3・4	26RIN3L20	講義	2	後期	○	○			◎	◎		地域・都市の計画と環境デザイン	山や川等の自然、田園と村落、そして都市。これらは全てお互いに関連しあいながら地域の姿を形づくっている。そのような地域をどう理解し、計画するか？基本的な考え方や具体例を示す。また、さまざまな環境問題や社会問題を抱える現代における、まちづくりの発想や環境デザインのあり方について解説する。	まちづくりデザインが必要とされる社会の現状を知り、その基礎的デザイン手法を理解する。
ランドスケープ計画論	選択	3・4	26CHI3L19	講義	2	前期	○	○			◎	◎		近代ランドスケープデザインの展開過程	近代ランドスケープ誕生から現代までのランドスケープデザインの発展過程を、作品事例から学ぶ。	これからの人間が自然に向き合う姿勢とは何かを考えられるようになる。
建築一般構造I	必修	1・2・3・4	26CHI2L05	講義	2	後期	◎	◎			△	△		建築をかたちづくる基本	歴史上節目とされる建築や身近に見られる建築を題材に、建築の材料と構法に対する理解を深める。	建築を構成する基本的な要素、材料、構造形式に関する基礎的な知識を習得し、設計において活用できる能力を身につける。
建築一般構造II	必修	2・3・4	26CHI2L12	講義	2	前期	◎	◎			△	△		素材と架構と空間特性	木質構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨構造など各種建築構造について、構造計画を行うのに必要な基本的事項を学び、空間に適した構造素材と架構形式の知識を習得する。	それぞれの構造・構法の特徴を理解し、建築・空間デザインの中に活かすことが出来る能力を身につける。
環境工学	必修	2・3・4	26SHI2L16	講義	2	後期	◎	◎						快適な建築環境	光・熱・音・空気・水といった環境要素の基本事項を学び、これらを建物内でどのようにコントロールすればより快適な環境となるかについて学ぶ。	建物内の光・熱・音・空気・水の諸現象への理解を深め、環境工学的な視点からの発想を空間デザインや快適性の創出に活かす力を養う。
建築材料学	必修	2・3・4	26CHI2L15	講義	2	後期	◎	◎						建築材料の特性を知る	建築構造躯体の材料であるコンクリート・鋼材・木材の材料特性（製造法・品質・強度・耐久性など）について学ぶ。	建築業務の現場で必要な、建築材料に関する専門的知見を獲得する。
構造力学	必修	2・3・4	26SHI2L14	講義	2	後期	◎	◎						力学の基礎を学ぶ	造形デザインにあたって基礎となる構造力学を理解し、その知識を習得する。	造形デザインに必要となる構造力学の基礎を理解する。力のつり合いをモデル化し、応力図を描ける程度の能力を身につける。
構造計画	必修	3・4	26SHI3L21	講義	2	後期	◎	◎						建築の構造体を探求する	実際の建築空間を事例に、構造形式(鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木構造など)や架構形式(組積造、アーチ構造、シェル構造など)について学習する。	基礎理論および不静定構造物の断面力算定法や崩壊荷重の基礎的な考え方について習得する。
建築設備学	必修	3・4	26CHI3L18	講義	2	前期	◎	◎						建築の環境制御手法	空調設備、照明設備を中心に、建築設備の概要の理解、建築設備システムの要点、基礎知識の習得に努め、建築設備が建築設計とどのように関わり位置づけられているか理解する。	建築物における設備システムの位置づけを理解し、よりよい生活空間・環境を設計･デザインするための基礎力を養う。
建築法規	必修	3・4	26RIN3L22	講義	2	後期	◎	◎						建築基準法と関連法規	建築基準法関連法規を具体的な事例を含め考察し、身近なものとしてとらえる。また、法律を通して京都の景観について考える。	建築と法令規制との関係を学び、より優れた建築を提案するための視点を養う。
建築積算・施工	必修	3・4	26CHI3L23	講義	2	後期	◎	◎						建設における積算および施工の基礎知識	積算は、設計図書からいくらで建設できるかについて、各部の材料の数量と単価、工事に関わる労務の価格に分解して理解することを目的とする。施工は、どのように建設するかについて、施工図書や工程計画の作成と工程管理の方法、各工事の特徴を通して理解することを目的とする。	建築施工・積算に関する諸業務を理解し要点を説明できる。 各種工事の概要を理解し要点を説明できる。 建築施工の今後について方向性を把握し要点を説明できる。
デザイン基礎I	必修	1	26CHI1S25	演習	4	前期			○	○			◎	建築設計製図基礎１ ―製図法	建築図面のトレースや模型制作を通じて、図面表記のルール・記号・図法を理解し、3次元の空間と2次元の図面間の変換の過程や方法を習得する。	製図法を習得し、建築設計の基礎となる図面表現を身につける。図面における線や寸法の意味を学ぶ。
デザイン基礎II	選択	1	26KOS2S26	演習	4	前期		○	◎		◎	◎		身体スケールの環境デザイン	与えられた材料を用いて、自分自身のための椅子を実作する。家具の実作に不可欠の三面図や原寸図の描き方を習得する。	スケール感を体得する。デザインのプロセスやものづくりの苦しさ・楽しさを体験する。
デザイン基礎III	必修	1	26CHI2S27	演習	4	後期	○			○	◎	◎		建築設計製図基礎２ ―空間分析	近代建築の巨匠が設計した住宅を自らの着眼点で研究・分析し、図面トレース・模型制作を通して今後の設計制作の礎を築く。	設計製図および表現技法を発展させるとともに、合評での効果的なプレゼンテーション技術を学ぶ。
デザイン基礎IV	選択	1	26HAS1S28	演習	4	後期			○		◎	◎	○	住宅の設計	デザイン基礎Ⅲで学んだ空間構成の原理や手法を展開して、住宅を設計する。建築設計製図の基礎的技術を習得するとともに、敷地調査から計画、設計までの一連のプロセスを学ぶ。図面作成と模型制作を併用した計画手法と、第三者へのより正確な伝達表現を習得し実践する。	空間構成の原理や手法を実際の設計に応用できるようになる。 住環境と人間の関係性を図面と模型にまとめ、第三者へ伝える能力を身につける。
コンピュータ演習 （2023年度休講）	選択	2	26HYO2S29	演習	2	前期			○	○			◎	デザインプロセスにおけるCADの可能性	CADソフトウェアと画像処理ソフトウェアとを利用し、製図・ＣＧパースの基礎技術を学ぶ。更に、スタディ段階での活用など、デザインプロセスにおけるCADの可能性を探る。	コンピュータを用いた授業の特性を把握して、各自のデザインプロセスの中でどの様な位置づけに応用するかを考える。
CADI	選択	2・3・4	26HYO2S34	演習	2	前期		◎	○	○				CADを用いた設計製図の技法およびプレゼンテーション能力を養いながら、小規模な公共空間の設計を行う。	CADの機能を用いて、ハードラインの図面を仕上げるプロセスを理解する。小規模な空間を素材や照明を含めて計画し、CADソフトの2次元ツールおよび3次元ツールを用いて、必要な図面そのほかを用紙内に美しくレイアウトし、図面作品として仕上げる。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。 パネルプレゼンテーションの基本と応用を学び、実際に課題制作を仕上げること。
CADII	選択	2・3・4	26HYO2S35	演習	2	後期		◎	○	○				CADを用いた設計製図の技法およびプレゼンテーション能力を養いながら、公共建築物および外構の設計を行う。	CADの機能を用いて、ハードラインの図面を仕上げるプロセスを理解する。公共建築物および外構を計画し、CADソフトの3次元ツールを用いて、必要な図面そのほかを用紙内に美しくレイアウトし、図面作品として仕上げる。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。 パネルプレゼンテーションの基本と応用を学び、実際に課題制作を仕上げること。
アーキテクトスクールI (2023年度休講)	選択	2・3・4	26KOS2S42	演習	2									環境芸術としての建築	建築家を志望する学生のための、建築家による集中授業。	建築家に必要な創造力・造形力を獲得する。
アーキテクトスクールII (2023年度休講)	選択	3・4	26KOS3S43	演習	2									設計スキルの向上	建築家を志望する学生のための、建築家による集中授業。	建築家に必要な発想力・構想力を獲得する。
環境デザイン特講I （2023年度休講）	選択	1	26KOD1L08	講義	2	前期	◎		◎					体験する環境デザイン	京阪神地区における環境デザインの実例および素材工場を見学する。建築・都市・ランドスケープ・インテリアが一体となった事例に焦点をあて、現代に求められる環境デザインへの理解を深める。	環境デザインの実例から、7つの領域を一体のものとして学び、環境デザインの社会的役割と可能性について知見を得る。
環境デザイン特講II （2023年度休講）	選択	1	26KOD1L09	講義	2	前期	◎		◎					京都・奈良の自然景観	歴史文化の集積する京都・奈良における自然環境要素に焦点を絞り、フィールドの中で体感することを通じて、環境デザインを考究する。	京都の豊かな自然をフィールドに、外部環境の計画に必須である植物の特徴と生育環境についての基礎知識を身に着ける。
環境デザイン特講III	選択	2・3・4	26KOD2L47	講義	2									環境色彩計画と都市農村景観	2005年に全面施行された「景観法」は"美しく風格のある国土の形成"を提唱している。以来全国の都市で条例が制定され、京都市も2007年に歴史都市に相応しい風格の形成をめざして「新景観政策」を施行した。本授業では、新たな景観形成の要素となる「環境色彩計画」立案に必要な色彩の基礎知識と「環境色彩」の意義の理解。京都市の景観の現状調査及び分析、評価を通じて改善案を提案する。以上のプロセスから「環境色彩」の重要性を実践的に学ぶ。	環境色彩計画に必要な色彩学の基礎的な知識とともに、環境色彩の意義と手法を実践的に習得する。
環境デザイン特講IV （2023年度休講）	選択	2・3・4	26RIN2L48	講義	2	後期	◎		◎					日本の木造伝統工法について理解を深める	日本の木造伝統工法について、講義とワークショップを通じて学ぶ。伝統工法の軸組や仕組み、あるいは土壁などに関する講義と実習を行い、体験的に理解を深める。	日本の木造伝統工法について基本的知識を得る。 日本の木造伝統工法について体感し、その知恵と工夫について身体を通じて学ぶ。
庭園演習I	選択	3・4	26KOD3S40	演習	2	前期			◎					名園演習１	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。	名園を味わいながら、木造りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
庭園演習II	選択	3・4	26KOD3S41	演習	2	後期			◎					名園演習２	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。	名園を味わいながら、木造りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
環境デザインI	必修	2	26HAS2S30	演習	3	前期		○	△		◎	◎		小規模商業空間の設計	賑わいあるいは安らぎの場となる小規模商業施設を構想し、図面や模型に表現する技術を修得する。	周辺環境を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、そしてそれを図面や模型にまとめる能力を身につける。
環境デザインII	選択	2	26HAS2S31	演習	3	前期				○	◎	◎	◎	街角のアースワーク	建築設計の基盤となる敷地造成の基礎技術を習得するとともに、敷地調査から計画、設計製図までの一連のプロセスとその表現法を学ぶ。	場から与えられる情報を読み取る能力、地形造形による新たな場の構築力、そしてそれを図面にまとめ、伝える能力を身につける。
環境デザインIII	必修	2	26HAS2S32	演習	3	後期			○	○	◎	◎		集合住宅による居住環境の設計	外構計画や地域の環境形成にも配慮しながら、集合住宅による居住環境の設計を行う。設計者の構想を、図面と模型により的確に表現する。	居住環境についての理解を深め、場の情報を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、それを図面にまとめる能力を身につける。
環境デザインIV	選択	2	26HAS2S33	演習	3	後期			○	○	◎	◎	◎	都市施設の設計	高密度な都市空間に立地する都市施設を設計する。都市的文脈を調査分析し、都市生活に求められる各施設内容をプログラムした上で、独自の空間造形に挑戦する。	建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会・環境との関わりを学び、それぞれの要求を満たす内容を表現する能力を獲得する。
環境デザイン演習I (2023年度休講)	選択	3	26KOD3S49	演習	2									環境デザインにおける技術・知見の獲得	①京都の歴史的環境や伝統的空間の実地見学を通して、時代を超越する環境デザインの価値を発見する。 ②問題点を明確にした即日設計課題を行うことにより、設計行為へのアプローチを短時間で行うことを目指す。	京都の歴史的環境や伝統的空間から時代を超越する環境デザインの価値を発見し、自らの表現に向けた蓄積を増やす。即日設計を通して設計行為での瞬発力を身につけ、設計力を向上させる。
環境デザイン演習II （2023年度休講）	選択	3	26KOD3S50	演習	2									環境デザインにおける技術・知見の獲得	①京都の歴史的環境や伝統的空間の実地見学を通して、時代を超越する環境デザインの価値を発見する。 ②問題点を明確にした即日設計課題を行うことにより、設計行為へのアプローチを短時間で行うことを目指す。	京都の歴史的環境や伝統的空間から時代を超越する環境デザインの価値を発見し、自らの表現に向けた蓄積を増やす。即日設計を通して設計行為での瞬発力を身につけ、設計力を向上させる。
環境計画I	必修	3	26KOS3S36	演習	3	前期		○		○	◎	◎	◎	都市公共施設の設計	高密度な都市空間に立地する公共施設を設計する。都市的文脈を調査分析し、都市生活に求められる各施設内容をプログラムした上で、独自の空間造形により表現する。	高密度な都市空間に立地する公共空間を設計することにより、建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会との関わりを学び、それぞれの要求を満たす提案を図面にまとめる。対象とする場の情報を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、そしてそれを表現する能力を身につける。
環境計画II	選択	3	26KOS3S37	演習	3	前期				◎	○	○	○	領域別選択課題１	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身に着ける。
環境計画III	必修	3	26KOS3S38	演習	3	後期		○			○	○	◎	複合業務施設の設計	都市の将来像を想定しつつ、周辺地域の環境や文化の文脈に配慮した都市拠点空間を提案し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した複合業務施設を、図面・模型を通して的確に表現する。各自が構想した複合業務施設に必要な空間構成力の養成。
環境計画IV	選択	3	26HYO3S39	演習	3	後期		○		○	◎	◎	◎	領域別選択課題２	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身に着ける。
環境計画V	必修	4	26ALL3S44	演習	3	前期		○		○	◎	◎	◎	地域のなかの公共・商業建築の設計	地域社会と密接に関係する公共・店舗施設を設計し、外構計画・地域の環境形成も配慮しながら、設計者の構想を、図面と模型により的確に表現する。	「地域のなかの公共建築の設計」を通して、公共建築の空間設計手法と計画技法を習熟する。具体的な企画・計画の立案を通じて地域デザインの多様性を、理解する。
環境計画VI	選択	4	26ALL3S45	演習	3	前期		○		○	◎	◎	◎	領域別選択課題３	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身に着ける。
卒業研究・制作	必修	4	26ALL3S46	演習	4	後期	○	○	◎	◎	○	○	○	卒業研究・制作	４年間の学びを統合し、ひとつの表現として昇華させ、制作した作品を展示発表する。	学修の集大成としてふさわしい内容とクオリティの作品を、卒業制作展で展示発表する。
環境デザイン概論	必修	1・2・3・4	26RIN1L01	講義	2	前期	◎	◎						環境デザインの現在	環境デザイン学科専任教員およびゲスト講師によるリレー方式の授業。各自が自分の研究や制作をとおして環境デザインを多角的に検証する	環境デザイン領域の広さと深さを理解した上で、自らの専門領域の設定に資する。
プロフェッショナル研究	選択	2	26RIN2L17	講義	2	前期			○	◎			○	10年後の自分に話を聞こう	「しごと」をしている人へのインタビューやプロフェッショナルによる講義を通して、自分自身のキャリアプランを再検討する。	自分自身のキャリアプランをより現実化する。
学科特殊演習I	選択	1・2・3・4		演習	2				○	◎				インターンシップ プロジェクト	専門領域の企業等での就業体験や学科主催のプロジェクトへの参加を通して、社会を知り、行動力・継続力・コミニュケーション能力を養う。	社会性を高め、人間力を養う。
学科特殊演習II	選択	1・2・3・4		演習	2				○	◎				インターンシップ プロジェクト	専門領域の企業等での就業体験や学科主催のプロジェクトへの参加を通して、社会を知り、行動力・継続力・コミニュケーション能力を養う。	社会性を高め、人間力を養う。
学科特殊演習III	選択	1・2・3・4		演習	2				○	◎				インターンシップ プロジェクト	専門領域の企業等での就業体験や学科主催のプロジェクトへの参加を通して、社会を知り、行動力・継続力・コミニュケーション能力を養う。	社会性を高め、人間力を養う。
学科特殊演IV	選択	1・2・3・4		演習	2				○	◎				インターンシップ プロジェクト	専門領域の企業等での就業体験や学科主催のプロジェクトへの参加を通して、社会を知り、行動力・継続力・コミニュケーション能力を養う。	社会性を高め、人間力を養う。
キャリアインターンシップI	選択	2・3・4		演習	1				◎	◎						
キャリアインターンシップII	選択	2・3・4		演習	1				◎	◎						
キャリアインターンシップIII	選択	2・3・4		演習	2				◎	◎						
（教職科目）																
絵画基礎演習	選択	2・3・4	26HYO2S52	演習	2	前後期	△	△			○	○	◎			
彫刻基礎演習	選択	2・3・4	26HYO2S53	演習	2	前後期	△	△			○	○	◎			